

♪ 赤信号 みんなで
渡れば 怖くない ♪



百日草



高まる集団とは...
一人ではないという安心感
一人であるという不安感

"赤信号、みんなで渡れば怖くない"、この言葉に代表されるように、人々の心は本当は弱く、たたりあたりするもので、さて、夏休みが終わり数日が過ぎましたが、少しは個性から集団のリズムに切り替えることができたでしょうか...

左の構図は上のイラストと重ねてみたら意味がわかるかと思えます。
A: 本当変わるべき人は誰なのか... 誰か変わって行けば集団は変わるのか... 集団の中で多数を占めるのはB、です。どうでしょう。今の自分の教室は...そして自分は... 集団生活を乱す要因は少数、そしてそれを許さない正義の集団も同じ少数。結局のところ集団の空気をつくらているのはA、でもなければC、でもなし。圧倒的多数のB、がです。
B: Bの人がどう動くかによって集団の質は決まるので、ではなぜ集団ではB、が少くはるのか...

一人ではないという安心感... 心は、人の本当の意志や決断と鈍らせているので、
一人であるという不安感... 全て、全くその逆の言いかたをするから...
正義の立ちあがりや邪魔になるので、

前期後半が始まりました。一年の折り返しを迎えるこの時期だから、B、の立ち位置から、勇気ある立ちあがりを目指してほしいと思えます。北中の生徒は本当に力のある人がたくさんいます。無関心と決して許してはいけません。A、が変わるのもC、が変わるのも、B、次第です。

校門一礼 笑顔の巻 感謝の校

9月2日の生徒集会にて、生徒会執行部から全校生徒に提案され「校門一礼」がスタートすることに決まりました。私は「待ってました!!」と嬉しさでいっぱいでした。
右は菊心碑建立の由来について記載された文言です。この取組がまたひとつ北中の伝統となっていくのを楽しみにしています。
「朝の誓い、だけでなく夕の感謝」まで習慣づけたいですね。
今週の朝の様子を見て、まだ定着するには時間がかかりそうですが、少しずつ、楽しみにしています。

菊心碑建立の碑

北中生の心のよりどころとして、菊心碑を建立する。碑銘は「菊心台命名由来記」の一節より求め、「一日の稽古を鍛といい、千日の稽古を錬という。中学3カ年の千日に培われる菊心魂こそ北中生徒の指標である」を刻字する。正門入り口に設け、朝に「今日もしっかり勉強します。」と誓いを立て、夕には「今日もしっかり勉強しました。有難うございました。」と感謝の念を捧げ、『一日を大切にする』『一日を精一杯に生きる』北中生徒の思索のひとときにして、心の鏡にしたい。